



牛久市住井すゑ文学館

SUMI SUE MUSEUM OF LITERATURE



■ ご利用案内

開館時間：9:00～16:30（最終入館は16:00まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）、年末年始（12/28～1/4）

入場料：一般：100円／団体（10名以上）：50円

* 高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は無料

* 展示棟見学のみ有料（敷地内散策及び抱樸舎見学は無料）

■ アクセス

電車ほか：JR常磐線牛久駅西口からコミュニティバスかつば号（刈谷城中ルート）に乗車、「かつばの碑入口」バス停下車、徒歩3分

車：圏央道 つくば牛久ICから国道408号・6号線経由約25分

牛久市住井すゑ文学館 所在地：牛久市城中町77番

TEL：029-869-8350 FAX：029-869-8360



住井すゑ(1902～1997)は奈良県出身の作家です。昭和10(1935)年に、農民文学者の夫・犬田卯(いぬたしげ)の郷里である牛久村城中(現・牛久市城中町)に家族で移住し、以来この地で執筆活動を行ない、自由と平等を訴える作品を数多く発表しました。なかでも長編小説『橋のない川』は大ベストセラーとなり、映画化もされました。

住井すゑが執筆活動を行なった書斎などの建物は、改修工事を行ない、令和3(2021)年に牛久市住井すゑ文学館として開館しました。住井すゑ及びゆかりの人々の文学への関心と理解を深めていただくために、所蔵する文学資料の保存・展示を行ないます。

■ 展示棟 (有料)



展示棟外観



再現した住井すゑの書斎

展示棟では、住井すゑが執筆した原稿や蔵書、愛用品などを展示しています。また、関連図書を開覧することもできます。



■ 駐車場



普通自動車 10 台分(身障者用含む)。近隣に第 2 駐車場(約 10 台)もあります。

■ 抱樸舎



かつて住井すゑが学習会の教室として建てた抱樸舎を、展示ギャラリー、周辺案内コーナーとして無料で公開しています。

住井すゑ文学館周辺の文化遺産



小川芋銭記念館 雲魚亭
(市指定文化財)

明治から昭和にかけて活躍した画家小川芋銭が最晩年を過ごしたアトリエ兼住居。



河童の碑(市指定文化財)

小川芋銭を慕う人々によって建てられた記念碑で、河童の絵が刻まれている。



牛久城跡

戦国期牛久市西部を治めていた岡見氏の居城。空堀と土塁が良好な状態で残っている。



得月院

由良国繁の生母、妙印尼が開基。境内には、妙印尼の五輪塔(市指定文化財)や小川芋銭の墓がある。